

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/08/27～2017/09/04)

0. まえがき

留学生活が始まって一週間が経ちました。初めての報告を始める前に、これまでサポートしてくださった全ての方に心からお礼を申し上げたいと思います。両親、留学支援課の方々、学習指導をしてくださった先生方、励ましてくれた先輩や友人などなど、皆さまのお陰で無事に留学をスタートさせることができました。ありがとうございます。これからの約10ヶ月間、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

1. 勉学の状況

授業は明日から始まりますので、本格的な勉強はまだしていません。ですので、ここでは、留学前からこれまでに間にしてきた準備（主に勉学面）について書きたいと思います。

(1) 英語学習について

渡航前は、主にイングリッシュハウスを利用しました。気が向いたときに顔を出すだけでなく、無料のIELTS対策講座も受講しました。イングリッシュハウスには、これから留学を目指している学生、千葉大学にきている外国人学生、留学から帰ってきた先輩などが集まっており、彼らと話をすることはとてもいい刺激になりました。

渡航後は、ルームメイトや現地の学生とできるだけ会話をするようにしています。とはいえ、なかなか聞き取れなかったり、思うように表現できなかったりして、もどかしい思いをしています。特に、三人以上の会話の輪の中に入るのはとても難しいです。こんな感じですので、誰かに会うのが億劫に感じることもあります。それでも焦らず、根気強く頑張っていこうと思います。一人でいる時は、現地のテレビを見たり、podcastで配信されている英語学習教材を使ったりしてぼちぼち勉強しています。

(2) 選考対策について

派遣留学を希望する場合、選考試験を受けなければなりません。そしてそこでは「留学の目的」なるものを示さなければなりません。私の場合は、「とにかく長期の留学に行きたい！」と言う気持ちが先行していましたので、「留学の目的」を考えることはとても大変でした。そこで、指導教員や友人、学部の先輩、時には飲み屋で出会ったオジさんたちと話をし、少しずつ整理をしていきました。大変ではありましたが、自分が留学先で何をしたいのかを考える時間はとても貴重でした。アメリカに渡ってからも自分の留学の目的を絶えず見直し続けていきたいと思います。具体的な留学の志望動機書の書き方などは、先輩方の派遣留学報告書や留学経験者のブログ等にいくらかでも転がっていますので、そちらに譲りたいと思います。

2. 生活の状況

(1) 友人について

現地に留学に来ている留学生（日本人留学生を含む）とは、情報共有をしたり、異国の地で生活することの困難さを語り合ったり、自国の文化や言語を紹介しあったりしています。この一週間だけでも、韓国、中国、

ドイツ、フランス、ペルー、モロッコ、イギリスから来た留学生と会話をしました。このように、現地の人だけではなく、様々なバックグラウンドを持つ人々と出会えることも、留学の魅力だと思います。

ルームメイトは私を含めて3人います。一人は The Beatles が好きな**金髪の好青年**（トーマス君）、もう一人は底抜けに明るい**青髪の野郎**（ジョン君）です。二人はとても親切で、日本から来た私のことを何かと気にかけてくれます。今日までの間に、生活必需品を分け与えてくれたり、大学周辺を案内してくれたりしました。この二人に限らず、現地の学生はとても親しみやすく感じます。どの人と出会っても初対面であることを感じさせません。この前は、エレベーターで出会った学生が突然キャンディーをくれました。

また、今の時期は、大学全体で新入生の歓迎行事が開かれています。私は、友人を誘って積極的に参加するようにしています。

（2） 寮について

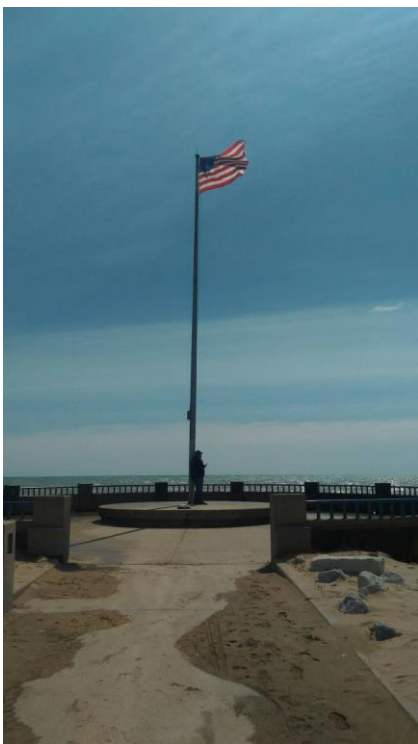
Sandburg Hall の West Tower に住んでいます。部屋にはキッチンがありませんが、千葉で一人暮らしをしていた頃からあまり自炊をしていなかったもので、特に不自由には感じていません。お湯を沸かしたい時は共用スペースの電子レンジを利用しています。自炊をしない代わりに、Meal Plan に入っています。これを使うと、学食では最大半額まで割引されるので、とても重宝しています。

一部の人はルームメイトがいるとストレスに感じるようですが、私の場合はむしろ、彼らの存在がとてもありがたいです。私は、千葉での一人暮らしに慣れていたせいか、自分の部屋に引きこもることも慣れていたので、近くに友達がいる、英語を教えてもらったり、食事や遊びに誘われる環境に身を置いてよかったと思います。

（3） 最後に、いくつか写真をのせます



ボートツアーに参加しました。ミシガン湖から市内を流れる川まで遊りました。



ミシガン湖で撮りました。街中や大学内で頻繁に国旗を目にします。国旗に対する評価も日本とは大きく異なるように感じます。



レストランで食べたアメリカ飯です。基本色どりが悪く、インスタ映えしません。いつも食べきれずに持ち帰ります。



大学内の噴水です。キャンパスはとても広く美しいです。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/04～2017/09/30)

1. 勉学の状況

私の時間割です。

Time	Monday Sep 25	Tuesday Sep 26	Wednesday Sep 27	Thursday Sep 28	Friday Sep 29	Saturday Sep 30	Sunday Oct 1
8:00AM							
9:00AM	POL SCI 104 - 402 Lecture 9:00AM - 9:50AM Lubar Hall S151		POL SCI 104 - 402 Lecture 9:00AM - 9:50AM Lubar Hall S151				
10:00AM							
11:00AM		POL SCI 175 - 001 Lecture 11:00AM - 12:15PM Bolton Hall B52		POL SCI 175 - 001 Lecture 11:00AM - 12:15PM Bolton Hall B52			
12:00PM		POL SCI 175 - 001 Lecture 11:00AM - 12:15PM Bolton Hall B52 POL SCI 106 - 001 Lecture 12:30PM - 1:45PM Bolton Hall B56		POL SCI 175 - 001 Lecture 11:00AM - 12:15PM Bolton Hall B52 POL SCI 106 - 001 Lecture 12:30PM - 1:45PM Bolton Hall B56	EAP 435 - 001 Seminar 12:00PM - 3:20PM Curtin Hall 203		
1:00PM		POL SCI 106 - 001 Lecture 12:30PM - 1:45PM Bolton Hall B56		POL SCI 106 - 001 Lecture 12:30PM - 1:45PM Bolton Hall B56			
2:00PM		POL SCI 104 - 602 Discussion 2:00PM - 2:50PM Bolton Hall B79					
3:00PM							
4:00PM							

(1) (POL SCI 104) Introduction to American Government and Politics

アメリカ統治機構の講義です。今月は、統治機構の基本的な概念の導入と、連邦制、市民権について扱いました。特に難しく感じることは、州と連邦との関係を整理しながら理解することです。なぜなら、日本で育った私にとって州と連邦とが互いに大きな力を持ち、時に対立し、時に協調するという現象にはあまり馴染みがないからです。

講堂で講義を受けた後、少人数クラスに分かれてディベートを行います。慣れない英語で、しかも慣れないアメリカの統治機構についてディベートするのは大変です。前回のテーマは「合衆国憲法第五条（憲法の修正に必要な手続きを定めた規定）に定める憲法改正の要件を緩和すべきか」というものでした。来月には自分が参戦する番が回ってくるので、早めに準備したいと思います。

(2) (POL SCI 175) Introduction to International Relations

国際関係論の講義です。今月は、基礎となるセオリーやフレームワークの導入と、それらを1648年以降の世界史に当てはめて分析するのがメインでした。政治的な現象を抽象化して分析する手法は決して万能ではありませんが、新たな視点が得られるので、とても興味深いです。予

習では、高校レベルの世界史を復習しながら毎週 30 ページほどの教科書を読みました。講義での負担を減らすために、予習を重視しています。

先日 1 回目のテストがありました。全問が選択式だったのですが、すべての問題に解答し終わった時、試験会場に残っていたのは自分だけでした。正解率は決して低くなかったのですが、改めて英語力の弱さを感じました。

(3) (POL SCI 106) Politics of World's Nations

比較政治の講義です。各国の政治状況を近時まで細かく扱うので、馴染みがないと難しく感じます。先生の話す英語がゆっくりで聞き取りやすいのが唯一の救いです。今月はイギリスの民主主義を扱いました。話題が王室に移った時、生徒からの質問が続出したのが興味深かったです。しかしながら彼らが何を質問しているのか聞き取れず、良い機会を逃したなど悔しく感じました。

先日は 10 ページある論文を要約する課題が出て、朝まで苦戦しました。抽象的で難しい単語が多過ぎて、全く歯が立たなかったです。それでもアメリカ人の友達に英語の添削をしてもらいなんとか提出しました。次回はもっと早めにとりかかりたいです。

(4) (EAP 435) Advanced Listening, Speaking, and Note-taking Skills for Internationals

英語の授業です。この一か月間で、「発音できない音は聞き取れないし聞き取れない音は発音できない」ということを痛いほど思い知りました。これまで何年間も英語学習をしてきて、これほどまでに舌の位置に気を遣ったことがあったでしょうか。

2. 生活の状況

(1) 寮生活

2 人のアメリカ人学生とルームシェアをしています。9 月初旬、2 人のルームメイトにそれぞれガールフレンドができました。彼らは私が部屋にいても全くはばかりません。時には見ているこちらの方が恥ずかしくなるような場面に遭遇するものの、すぐに慣れました。現在も私は、部屋のデスクで黙々とこの報告書を書いているわけですが、その隣でカップルが寄り添って寝ています。彼らのガールフレンド達に限らず、部屋には様々な学生が頻繁に遊びに来ます。とても楽しいです（こういう現象を楽しいと思える人は、相部屋が向いていると思います）が、貴重品の管理には気を付けなければいけません。

私の部屋のルールは単純で“Be straight forward, just talk it out”というものです。うるさいと感じれば、自分が出ていくか「静かにして」と言うだけで解決します。寮の共有スペースや図書館を利用すれば、静かな場所には事欠きません。こんな感じで、寮では気楽に過ごすことができます（し、ルームメイトにとってもそうであって欲しいです）。

(2) 食生活

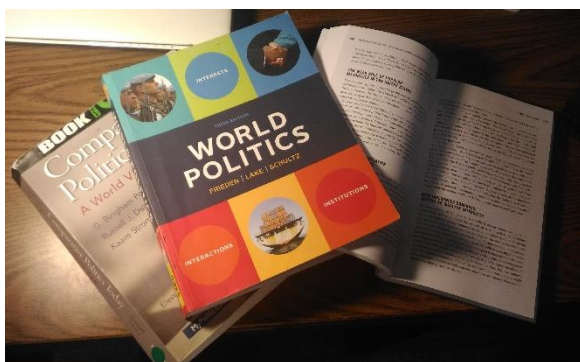
日常的な食事に関しては、ほぼすべての食事を寮の食堂で済ませています。生野菜や果物が食べられるので重宝しています。Meal Plan の割引を用いて1食平均4ドルほどです。キッチンの無い安い部屋に住んでいることを勘案すれば、それほど高いとは思いません。

また、未だに甘すぎるお菓子が多いことに困惑しています。「ちょっと甘いお菓子が食べたいな」と思っても、アメリカにそんなものは存在しません。甘いお菓子は胸やけがするほど徹底的に甘いです。余談ですが先日、塩辛い食べ物を求めてカップ焼きそばとカップラーメン(Teriyaki 味)を購入しました。しかし、どちらも一口食べた瞬間、口いっぱい優しい甘みが広がり、思わず失笑しました。僕の考えが甘かったです。

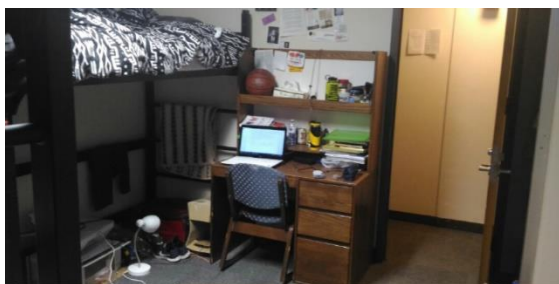
(3) 課外活動

Japanese Culture Association (日本の遊びを共有するサークル) や日英会話テーブル(日本語と英語を学ぶ学生同士の交流会)に参加しています。講義を受けて寮に帰るだけならほとんど会話せずに生きていくことができってしまうので、現地の学生と触れ合い、英語を話す機会を大切にしています。先日はアメリカ人に花札を教えてもらいました(文化の逆輸入)。一部のアメリカ人は私よりよっぽど日本の文化(特にアニメ)に詳しいように思います。

(4) 最後に、いくつか写真を載せます。



教科書です。某有名通販サイトで中古品を購入しましたが、それでも一冊\$80ほどしました。オールカラーですが入門書でこの価格はかなり高いと思いました。



上：男たちの汚部屋です。入寮した時は机とマットレス以外何もありませんでしたが、散らかるのに時間はかかりませんでした。



下：共有スペースの写真です。先日、寮生がここに集まってフットボールの試合を見ました。



キャンパスの写真です。雨天はほとんどありませんが、風の強い日が多いです。



週末は現地の友達にミルウォーキーの街を案内してもらいます。

左：ビール工場を見学した時に撮ったメニュー表です。

右：教会で撮った写真です。荘厳なパイプオルガンの演奏を聴くことができました。

海外派遣留学プログラム月間報告書
(報告期間：2017/10/01 ～ 2017/10/31)

1. 勉学の状況

勉強の要領がつかめていないなか、10月中旬に中間試験とエッセイが重なり、苦戦しました。いっそ配点が低い部分は捨ててしまおうかなと思った時もありました。しかし今のうちに一通りの勉強を経験しておいた方が、後々効率が上がってくると思ったので、諦めないで出来るだけのことはやるようにしました。

(1) (POL SCI 104) Introduction to American Government and Politics

アメリカ統治機構の講義です。今月は市民権と議会制を学びました。私はアメリカ建国の歴史に詳しくないのでやや不安でしたが、先生が「あくまで政治の講義であり、歴史の講義ではない」とおっしゃってくださり、安心しました。

今月は中間テストがありましたが、先生の公約通り非常に簡単でした。また、千葉大学で英米法を受講した時の知識も活かされていると思います。

(2) (POL SCI 175) Introduction to International Relations

国際関係論の講義です。今月は戦争や内戦、テロが発生する理由を一般化して構造的に分析する内容がメインでした。この分野は、他の分野の理論を借りて解説することが多く、例えばゲーム理論など経済学上の理論がたびたび登場します。私はゲーム理論をまじめに勉強したことがなかったので、少し難しく感じました。

今月は1つ目のエッセイ課題がありました。引用の仕方も分からないような状況からスタートしたので、たった1.5ページを書くのに1週間ほどかかりました。言語学を専攻している学生に頼んで添削をしてもらいました。ただ添削してもらっただけでなく、いろいろと励ましてもらったので、持つべきは友だなあとしみじみ感じました。

(3) (POL SCI106) Politics of World's Nations

比較政治の講義です。今月はイギリスとフランスの民主主義の比較がメインでした。二か国の統治機構や歴史的な土壌の違いが明らかになるにつれて、自分なりに日本の民主主義と比較することもできたので興味深かったです。

今月は1回目の中間試験がありました。配点の2/3はエッセイでしたが、自分の英語力が低いために、苦戦しました。結果はC+ (70点くらい) でした。正直もっとできていないと思ったので、安心しました。ここまでいくつかのエッセイを書いて学んだことは、難しい単語や構文を使う必要はなく、内容があればそれなりに評価してもらえるということです。あまり気負わずにコツコツと頑張っていこうと思います。

(4) (EAP) Advanced Listening, Speaking, and Note-taking Skills for Internationals

今月は2つのプレゼンを行いました。1つはスライドを用いた簡単な自己紹介、2つめは自分の専攻分野の説明でした。クラスは15人ほどでアットホームな雰囲気なのでそれほど緊張はしませんでした。

まだまだ英語表現の幅は狭いものの、知っている表現を使うことに対する抵抗感は少なくなってきたように感じます。引き続き頑張ります。

2. 生活の状況

(1) 友人について

アメリカに来てから毎日日記をつけています。読み返すと、毎日、何かしら友人に助けられていることに気が付きます。彼らとの日常的な会話を通して、励ましてもらったり癒してもらったりしています。また、「そんな彼らともっと意思疎通をしたい!」という思いが、英語学習の積極的な動機になっています。持つべきは友です。

(2) 体調管理について

今月の初めに風邪をひき、持参した風邪薬のほとんどを使い切ってしまいました。体は正直なもので、父親譲りの白髪と睡眠時間がとても増えました。自分が意識していないところでも疲れがたまっていたようです。「疲れたときはとにかく寝る」これだけは徹底しています。

(3) おわりに

「大変でした」とか「疲れました」とかばかり書いて、全体的にネガティブなイメージの報告書になってしまったので、最後に楽しそうな写真を載せて終わりにしたいと思います。



”China Light” という催し物に行きました。公園中を中国風のイルミネーションで飾るお祭りです。中国の伝統的な弦楽器の演奏や踊りを見ることも出来ました。



大学の体育館で、友人とバスケをしたときの写真です。3年ぶりにバスケをした僕は無残にも左足を攣り、途中で辞退しました。

UWM でトレーナーの勉強をしている法政大学の学生にケアをしてもらい、友情と情けなさを感じました。



アジア系学生向けのパーティーに参加した後に、韓国学生と食べたラーメンです。出汁が全身に染み渡りました。

味玉の左にある緑色の物体はピクルスです。初めはびっくりしましたが、これがこってりしたラーメンによく合いました。



アメリカ人学生と、先日アメリカで公開されたばかりの映画『聲の形』を観に行きました。

写真は映画館の入り口部分の写真です。レトロな造りで感動しました。気になる方は”Milwaukee Avalon Theater”で画像検索してみてください。ステマではありません。

観終わった後に、映画の内容について語り合うのも楽しかったです。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01～2017/11/30)

1. 勉学の状況

全体的に、予習や課題にかかる時間が減ってきました。理由としては、1つには、専門用語や考え方に慣れてきたこと、2つには英語力そのものが若干向上したことが挙げられます。今学期の初めは、コピー機から際限なく吐き出される大量の英語文献を見つめて途方に暮れていましたが、最近は、「このくらいなら頑張れる！」と思えるようになりました。

(1) (POL SCI 104) Introduction to American Government and Politics

アメリカ統治の講義です。今月はアメリカの司法制度、世論と政策の関係、選挙制度について扱いました。手続法を細かく見ていくというよりは、それぞれの行動主体の利益が政策として実現される過程を捉えています。

一貫して問題になるのは、少数派の人権と民意の尊重のジレンマ、そこへの司法の介入の程度、です。おそらくこの問題に答えはないのですが、日本とは違う制度を勉強することで、ほんの少しだけ理解が深まったような気がします。

(2) (POL SCI 175) Introduction to International Relations

国際関係論の講義です。今月は経済政策を主に扱いました。中間テストとエッセイが1つずつありましたが、先月と同様、英語面で友人に助けてもらいつつこなしていきしました。

(3) (POL SCI106) Politics of World' s Nations

比較政治の講義です。今月は20世紀以降のロシアと中国の政治史を扱いました。独裁政治や汚職など、社会主義体制における様々な問題を扱いました。ただ、学期の初めにフランスとイギリスを扱った時とは違って、いわゆる東側諸国のネガティブな側面ばかりを取り上げていることに違和感を覚えなくもないです。講義の内容を踏まえれば、テストやエッセイで何を書いても減点されることは決して無いのですが、先生の話ぶりや言葉選びからちょっとした思想を感じなくもないです。ともあれ、なぜ自分がそのような違和感を覚えるのかを考えながら講義を受けることもまた面白く、勉強になります。

(4) (EAP435) Advanced Listening, Speaking, and Note-taking Skills for Internationals

英語のセミナーです。今月は6分ほどのプレゼンを1つ行いました。自分の番が回ってきたときに、記憶していた内容が全部飛んだのですが、なんとか6分間話し続けることができました。結果オーライというか、これはこれで自信になりました。

2. 生活の状況

(1) サンクスギビング休暇について

シダーパーク (Cedarburg) という街にあるルームメイト (ジョン) の実家で2泊させてもらいました。シダーパークはミルウォーキーから北へ車で40分ほどの所にある小さな街です。歴史的な建物や小さくておしゃれなお店が多く、ミルウォーキーとはまた違う、落ち着いた街並みを見ることができました。

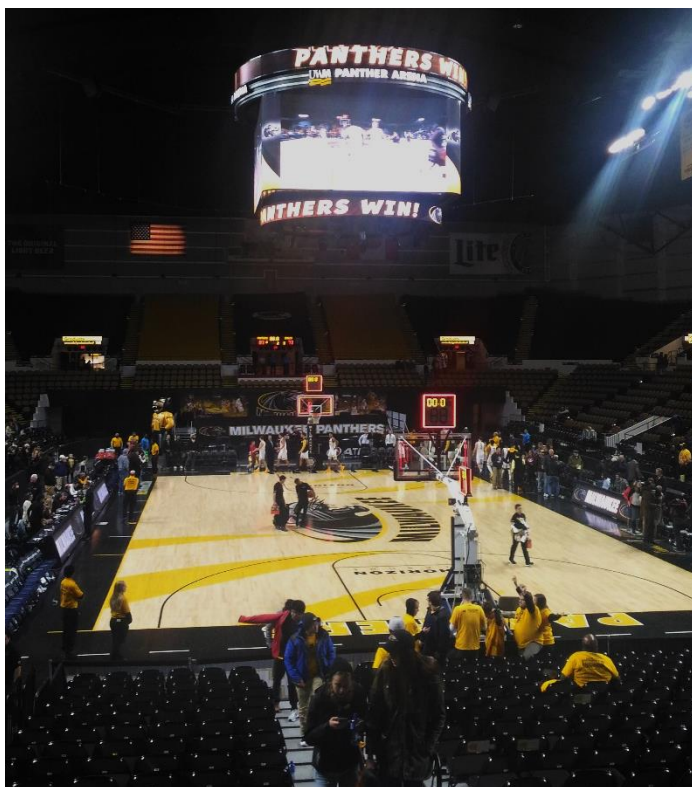
サンクスギビング当日の朝は、近所の人々が近くの広場に集まってアメフト大会をしました。ルールもよくわからないままキャプテンに指名され、最終的には MVP に選ばれました。なんだか周りの人の心の暖かさを感じた瞬間でした。

その後もご家族とマリオカート大会をしたり、ボードゲームをしたり、夕食の支度を手伝ったりすることを通して、アメリカの家庭の様子を見ることができ、とてもよい経験になりました。

(2) 体調管理について

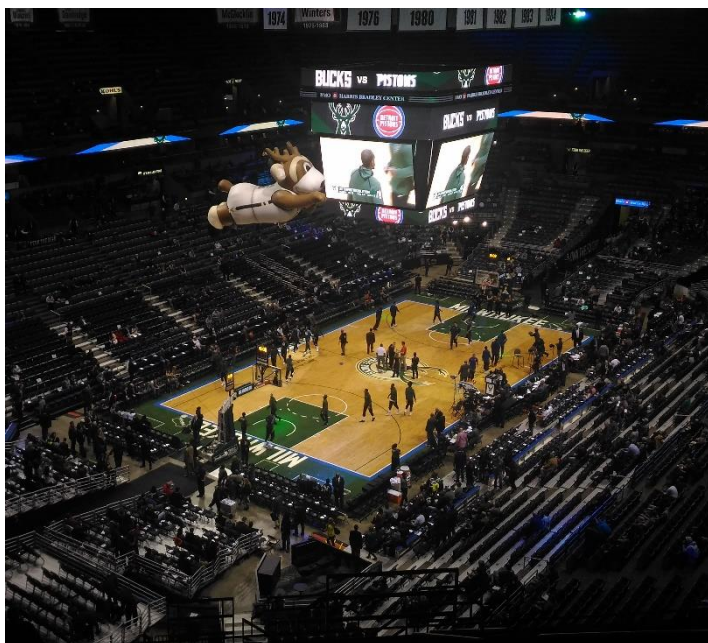
勉強面でも生活面でもこちらでのリズムに慣れてきており、ストレスを感じるものが減りました。先月まで、友人と数時間話すだけでも疲弊していたのに比べれば、今月は当たり前に行えることが増えてきたなど感じています。こちらでの生活に慣れてきたところで、来月からはまた何か新しいことに挑戦してきたいと思います。

(3) 最後に写真をいくつか載せます。



大学バスケットを観に行きました。ミルウォーキーのダウンタウンに、大学のスタジアムがあります。

この試合は UWM が勝ちました。アメリカはカレッジスポーツが盛んで、それを勉強しに日本からきている留学生もいます。



NBA も観に行きました。一番安いチケットで\$20程でした。

この試合はミルウォーキーバックスが勝ちました。接戦で盛り上がりました。



サンクスギビング休暇中にお邪魔したジョンの実家の犬(ペッパー)です。僕の膝の上で野生を失っています。とても人懐っこく、出会って1秒で打ち解けました。



サンクスギビング当日の朝、リビングで撮った写真です。ニューヨークのパレードの様子を中継していました。日本で言うところのお正月のような雰囲気を感じました。



ターキー解体中！
クランベリーソースを付けて食べました。



これもジョンの実家で撮った写真です。意味は「10代の子を育てるのは木にJell-O (ゼリーの商品名) を塗るようなもの (=不可能) だ。」です。

Jell-O はゼリーの代名詞らしいのですが、アメリカに来るまで知りませんでした。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/05 ～ 2018/01/04)

1. 勉学の状況

月末に期末テストがありました。テスト勉強をしながら今学期を振り返りつつ、来学期の履修計画や自分の進路について考える時間が多かったです。

(1) (POL SCI 104) Introduction to American Government and Politics

アメリカ統治機構の講義です。今月は政党、利益団体、マスメディアの役割について扱いました。それぞれの行動主体が、理想や正義よりも、短絡的な利益を優先する理由について、専門用語を用いて考察していきました。ポピュリズムについて考察することは留学の学習目標のうちの1つだったため、とても興味深かったです。

期末テストは、中間試験と同様、先生が作ったスタディーガイド（試験勉強の具体的な指針）に従って準備をすれば、特に問題はありませんでした。

(2) (POL SCI 175) Introduction to International Relations

国際関係論の講義です。今月は最後のエッセイ課題がありました。お題は、「国際政治において、国際規範と国際法、どちらが重要か」というものでした。これまで計3つのエッセイに取り組んできましたが、その中でも一番漠然としていて難しい問題でした。しかし規範と法の役割について考え直す時間は、この講義の範囲を超えて、自分にとって大切なものでした。なぜならば、日本とは異なる社会規範をもつアメリカで生活をするにつれ、規範の持つ影響力を日々強く感じるからです。留学前は法政経学部の法学コース生として毎日のように実定法を勉強していましたが、今となっては実定法の役割と対比する形で、規範の持つ影響力を身をもって感じることができ、自分の視野を広げるうえで貴重な経験になっています。

この講義を通して、社会科学の他分野や日常生活にまで広く応用可能なフレームワークを得ることができました。（我々の生活は常に国際関係の一部だと考えれば応用可能であることは当たり前かもしれませんが。）今学期とった講義の中で一番興味深いものだったと思います。

(3) (POL SCI106) Politics of World's Nations

比較政治の講義です。今月は民主主義の発展段階にあるとされるメキシコの政治を扱いました。メキシコの麻薬カルテルについての文献が課題に指定された時、なぜ政治の講義で麻薬カルテルの話をするのか分からずにいました。しかし、民主主義の発展のために「人権に敵対的な中間団体の排除」と「統治と被統治の一致」とが必要だとすれば、メキシコにおいては麻薬カルテルの影響力を弱めることこそが民主主義の浸透のために重要だと気づいてからは、興味をもって講義を受けることができました。

(4) (EAP435) Advanced Listening, Speaking, and Note-taking Skills for Internationals

英語のセミナーです。今月は4分ほどのプレゼンをしました。今回は、国連の役割とそれが直面している問題について話をしました。質疑応答で、「将来国連はその役割を十分に発揮できると思うか」という、到底答えようのない質問をされましたが、とりあえず簡潔に回答することができました。先生は、「抽象的な質問に対して答えられていたので、英語力が上がった証拠」と言ってくださいました。

(5) 今学期のまとめと来学期について

今学期は留学の学習目標のひとつであった、「民主主義に内在するネガティブな側面はどのように克服できるか」ということについて、いろいろな角度から考えることができたと思います。来学期はこれらのトピックから少し離れて、(しかし密接に関連している、) 少年の更生保護について考察を深めていきたいと思っています。

2. 生活の状況

(1) 友人について

前述のとおり、今学期を振り返りつつ将来のことも考える時期にあつて、友人に自分の将来について相談する機会も多くありました。この手の相談に乗ってくれる友達によく”Everything will be always okay.“ といった趣旨の発言をします。初めはこういう考え方はあまりにも楽観的に聞こえて好きではありませんでした。しかし何日かに渡って会話を重ねるうちに、それは「なるようになるから大丈夫」という意味ではなく、むしろ「仮に失敗したように見えても、自分自身が強くあれば、その失敗すらも価値あるものに変えることができるから、何事も怖がらずにベストを尽くせ」という意味合いであるということに気付き、それ以降は、自分も”Everything will be always okay.”と心のなかで呟くようになりました。自分の中にある恐怖心ほど邪魔なものはありません。

また同じ友達の奨めで、村上春樹の「ノルウェイの森」(Norwegian Wood) を読み始めました。英字で読んでいるのですが、難解な隠喩表現を除けば、教科書よりはるかに速いスピードで読むことができます。(ウィキペディアによると、彼の作品の特徴はまさにこの「テンポの良さと隠喩能力の高さ」にあるようです。) 月間報告書でわざわざ小説のことをとりあげる理由は、単にそれが英語学習に役立っているからではなく、留学という自我を揺さぶられる経験をしている真っ最中にこの小説と出会ったことが、この小説の持つ意味合いを大きく異なるものにしていくとを感じるからです。このような機会を与えてくれる友人に会えただけでも、留学してよかったなと感じます。

(2) 冬休みについて

寮生のほとんどは実家に帰ってしまい、寮には帰る実家の無い留学生しか残っていません。友人と遊ぶ以外の時間はとても暇なので、小説を読んだり散歩をしたりして過ごしています。

クリスマスの朝は教会に行きました。音楽はとても美しかったです、説教はとても眠かったです。年越しは友達に誘われてホームパーティーに行ってきました。友達と一緒に寿司を作って持参したところ、喜んでもらえました。個人的には、何年か前から、もはやクリスマスや年越しを「特別なイベントだ」とは感じなくなっており、それはアメリカに来て変わりませんでした。特にテンションが上がることもなく、日常の一部といった感じでしたが、パーティーに集まった人とお話をするのは楽しかったです。

(3) 最後にいくつか写真を載せます。



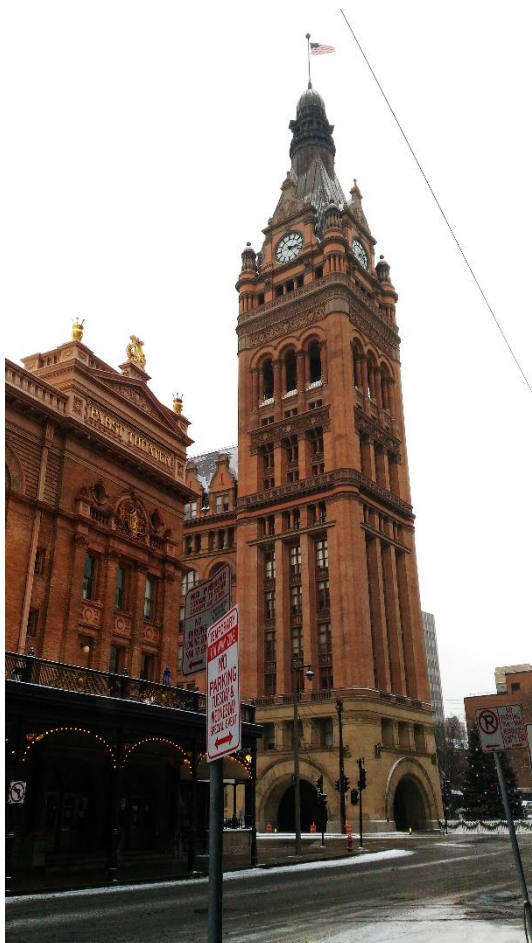
冬休み中にミシガン湖周辺を散歩したときの写真です。極寒（ -18°C 、風強し）でした。空はとても低く、どんよりとしていましたが、冬らしくてとても良い日でした。日本人2人、台湾人、アメリカ人の暇人が集まりました。

左は、散歩の途中で寒さから逃れるために入ったカフェの写真です。カフェで談笑しているうちに、気づいたら雪が降り始め、帰るころには辺りは真っ暗になっていました。



再び、UWMのカレッジバスケットを観に行きました。年末ということもあり、会場はガラガラでした。UWMは負けてしまいましたが、4ピリオドに追い上げを見せた時は盛り上がりました。

大学がスタジアム全体を運営していて、スタメン発表などの際にはまるでプロの試合のような本格的な演出がされます。



クリスマスイヴにダウンタウンを散歩している時に撮った写真です。アメリカのクリスマスは家族と過ごすものなので、ほとんどの店は休業しており、街には誰もいませんでした。



年越しにお邪魔した家で撮ってもらった写真です。この犬の名前はステラちゃんです。僕の暑苦しいハグ攻撃にも耐えてくれる、とてもいい子でした。

この日はボードゲームとご飯とお酒を楽しみました。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/05～2018/02/04)

1. 勉学の状況

秋セメスターの時間割です。研究室もなく、千葉大学の卒業に必要な単位もほぼ取りきつているので、自分の好きな講義とることができます。どの講義も課題が多く、慣れるまで時間がかかりそうです。

Time	Monday Jan 29	Tuesday Jan 30	Wednesday Jan 31	Thursday Feb 1	Friday Feb 2	Saturday Feb 3	Sunday Feb 4
9:30AM		PSYCH 101 - 001 Lecture 9:30AM - 10:45AM Lubar Hall N140		PSYCH 101 - 001 Lecture 9:30AM - 10:45AM Lubar Hall N140			
10:00AM							
11:00AM		SOCIOL 101 - 002 Lecture 11:00AM - 12:15PM Lapham Hall 162		SOCIOL 101 - 002 Lecture 11:00AM - 12:15PM Lapham Hall 162			
12:00PM							
1:00PM	POL SCI 250 - 001 Lecture 12:30PM - 1:45PM Lubar Hall S185		POL SCI 250 - 001 Lecture 12:30PM - 1:45PM Lubar Hall S185				
2:00PM		EAP 120 - 001 Lecture 2:00PM - 3:15PM Curtin Hall B12		EAP 120 - 001 Lecture 2:00PM - 3:15PM Curtin Hall B12			
3:00PM							

(1) (POL-SCI 250) Law and Society

法社会学の講義です。今週は訴訟手続きの限界について考察しました。訴訟の手続きには乗らない社会の実態に目を向けることが目的なので、エスノグラフィーのような文献を購読します。これらの文献は、普段読んでいる教科書とはテイストが異なるので、難しく感じる場合があります。

(2) (PSYCH 101) Introduction to Psychology

心理学の講義です。法学・政治学を勉強するうえで、ヒトの認知と行動についての知識が必要だと気付き、心理学の入門講義を受講することにしました。心理学はアメリカで最も人気な講義のうちのひとつであり、専門ではない学生も含めて多くの学生が受講しています。

今週は心理学の歴史と、なぜ心理学を科学と呼べるのかについて、勉強しました。心理学の講

義に限らずUWMでは、社会科学とは何か（なぜその分野を科学と呼べるのか）について、多くの時間（2コマ以上）を割いて説明しているように感じます。具体的な内容を扱う前に、社会科学とは何かについて知ることは、その限界を知ることでもあり、それ自体とても興味深いです。

（3）(SOCIOLOGY 101) Introduction to Sociology

社会学の講義です。今週は心理学と同様、なぜ社会学を科学と呼べるのかについて、勉強しました。自分が専攻してきた分野とは少し離れるので、慣れない専門用語に出会うことが多いです。しかしどの講義も興味深いトピックなので頑張りたいと思います。

（4）(EAP 120) Grammar and Editing in English for Multilingual Students

英語の講義です。三単現や時制など基礎的な文法事項でも、日常会話においてふと間違えてしまうことが多かったので、もう一回基礎から勉強し直すことにしました。講義自体は簡単ですが、自分が日常会話で犯しているミスを探しながら勉強することができ、為になります。

2. 生活の状況

（1）冬期休暇について

大学がスポンサーのツアーに参加しました。Rio Grande River というアメリカとメキシコの国境を流れる川をカヌーで1週間ほどかけて下っていく旅でした。1週間風呂無し、携帯なしの生活を通して、自分の体が浄化されていく感じがしました。

普段仲良くしている友達と離れて、専攻分野も興味も異なる新しい友達と出会えたことは、英語学習という意味でも効果があったと思います。



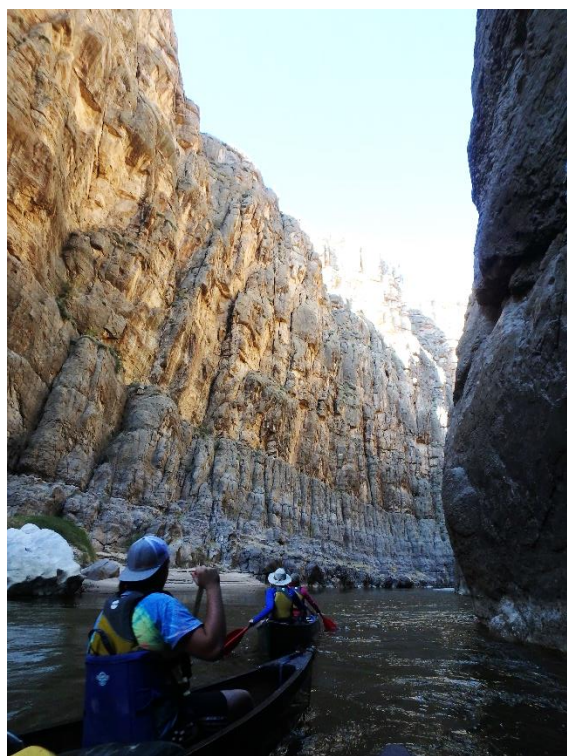
Big Bend National Park へ向かう道中の写真です。



初日のキャンプサイトで撮った夕焼けです。夜は満天の星空を見ることができました。光害が全くないので、天の川までくっきり見ることができました。



右岸がメキシコ、左岸がアメリカです。





キャンプサイトに設置した、世界一豪華なトイレの写真です。

仮設トイレをカヌーに積んで旅をしました。写真で振り返る分には素敵ですが、キャンプ中は衛生的にも精神的にもツラかったです。





一週間ぶりの風呂の写真です。川の横に沸いている温泉に入りました。とても幸せでした。

以上。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/05 ～2018/03/04)

1. 勉学の状況

(1) (POL-SCI 250) Law and Society

法社会学の講義です。先月に引き続き、刑事訴訟手続きの問題点について扱いました。千葉大学で刑事訴訟法をしたことがあるので、緻密な法理論と運用上の生じる問題点とのギャップを考えることができ、とても興味深いです。

(2) (PSYCH 101) Introduction to Psychology

心理学の講義です。今月は、生体心理学、意識、知覚、認識について扱いました。具体的には、神経や脳の働き、五感の働き、睡眠の性質などについて勉強しました。

中間テストがありましたが、日ごろから宿題をこなしていたので、大きな負担ではありませんでした。

(3) (SOCIOLOGY 101) Introduction to Sociology

社会学の講義です。今月は文化、社会化、官僚制などについて扱いました。どんなトピックを扱うにしろ、常に機能主義・シンボリック相互作用論・闘争(紛争)理論・合理的選択理論という四つのセオリーを枠組として考察していきます。

今月は一回目のエッセイ課題がありました。エッセイは、「講義で習ったセオリーやフレームワークに沿って自分の経験を説明する」というものでした。自分は以前から、多くのアメリカ人学生がタトゥーを入れていることに興味があったので、タトゥーを入れる(あるいは消す)ことの意味を考察しました。

(4) (EAP 120) Grammar and Editing in English for Multilingual Students

英語の講義です。先月に引き続き時制を勉強しています。時制は何度勉強しても難しいです。すでに知っている文法事項でも日常会話やエッセイを書く時にどうしても間違えてしまうので、丁寧に復習していきたいと思います。

2. 生活の状況

二月の初旬から中旬にかけては、課題や宿題をどのようにこなしていけば良いか分からず、とても疲れました。週末はどこかへ遊びに行くような気力もなく、勉強や買い物をする他は心置きなく昼寝ができる時間を満喫していました。したがって報告書に載せるのに適した写真もエピソードもほとんどありませんでした。かろうじて見つけた写真を二枚だけ載せておきます。



“アニメミルウォーキー”というコンベンションに行ってきました。大きな会場にたくさんのアニメ好きが仮装をして集まっていました。

グッズの販売やアニメの上映、ビデオゲーム大会などをやっていました。

僕は古着の浴衣や漢字 T シャツなどを販売するボランティアに参加しました。



ある日、講義が終わり校舎を歩いていたら、生まれたばかりの仔犬を抱えた人に出会い、写真を撮らせてもらいました。震えていて可愛かったです。

アメリカでは、通りすがりの見知らぬ人と会話をすることがとても多いです。僕自身はそういった習慣に馴染みがないので、積極的に話しかけることはあまりないのですが、例えばアメリカ人の友達と道を歩いているときに、友達が知らない人と会話を始めることが良くあります。例えば、相手のファッションをほめたり、なかなか来ないバスの愚痴を始めたり、些細な事を話します。にプライベートに踏み込み過ぎなければ、お互いに悪い気持ちはしないはずなので、個人的にはアメリカのこういう習慣が好きです。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

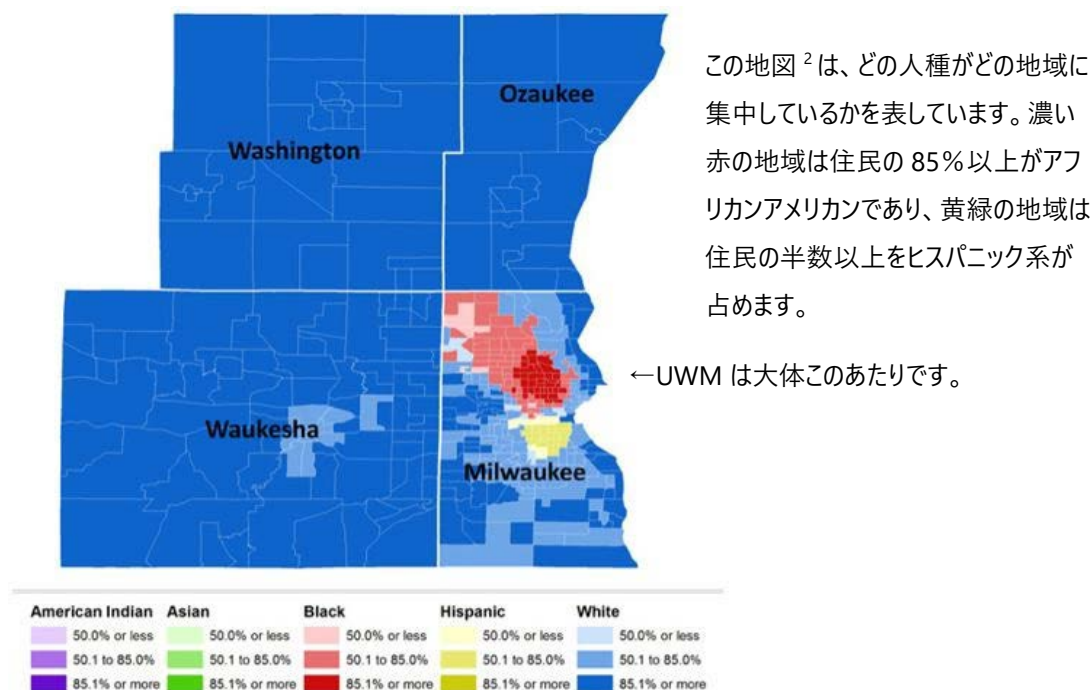
(報告期間：2018/03/05 ～2018/04/02)

1. 勉学の状況

(1) (SOCIOLOGY 101) Introduction to Sociology

社会学の講義です。今回は人種・性別による経済格差について扱いました。ところで僕が滞在しているミルウォーキーは、アメリカでも有数の「分離された街」と言われています。これは、各人種が特定の地域に集住していて、その境界線があからさまであるという意味です。確かに、キャンパスからバスで10分も行けば、特定の人種が集住している地域に入ることができます。今回の報告書では社会学の復習がてら、この街について紹介してみようと思います。

ミルウォーキーはアメリカで最も分離の進んだ5都市のうちの1つと言われています¹。ごく簡単に歴史に言及すると、1900年以降アメリカ南部から北へ向かって人口が流入した時に、治安悪化を懸念した白人たちが抵抗し結束して、集住地域を人種ごとに厳格に分けたのだそうです。



ミルウォーキーに来てから半年以上が経ちますが、キャンパスの外へ出かける度に、この分離を目と耳と鼻で感じます。例えば、繁華街へ向かうバスに乗ると、乗客はほぼ白人なのに対し、アフリカンアメリカンが集住してい

¹ ミルウォーキー以外の4都市は、デトロイト、ニューヨーク、ニューアーク、シカゴです。これら5の都市はすべてアメリカ北西部に集中しており、1960年代まで人種隔離政策が続いていました。

² 『Bo Morrison Killing Was Self Defense Against Milwaukee Types—Blacks』
<http://malcontends.blogspot.com/2012/03/bo-morrison-killing-was-self-defense.html>
 (2012年、ブログMAL Contendsより、最終閲覧2018年4月4日)

る地域を走るバスはアフリカンアメリカンばかり、ということがよくあります。

ミルウォーキーに留学して良かったと言える点は、単に人種等の多様性を理解するという事に留まりません。アメリカに根深く残っている人種の分離を肌で感じると同時に、動かしがたい社会構造が、そこに住む人間の行動や経済力に大きく影響しているということを目撃でき、貴重な体験であると思っています。

(2) (POL-SCI 250) Law and Society

法社会学の講義です。今月は死刑制度と少年事件について扱いました。ここでもやはり人種問題が講義の大部分を占めます。日本に居たころは（幸か不幸か）日常的に人種差を意識することはありませんでした。しかし今月に入って改めて、アメリカにおけるこの問題の根深さを実感しています。日本では人種問題がそれほど問題にならなくても、この問題は一般にステレオタイプ・偏見・差別・経済格差の問題であり、ここで得た知識は日本の刑事政策を考える際にも役立つと思っています。

(3) (PSYCH 101) Introduction to Psychology

心理学の講義です。今月は学習、知能、記憶、発達、動機について扱いました。特に記憶の分野は、法社会学の講義に関連付けて学習できました。というのは、刑事司法過程における証言の性質を考えると、「人間の記憶がいかに曖昧であり、それがどう証言に影響するか」ということも考えるからです。

(4) (EAP 120) Grammar and Editing in English for Multilingual Students

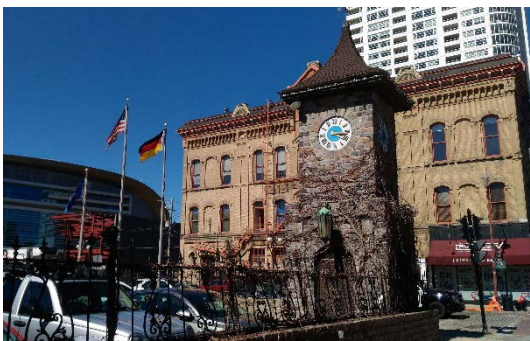
英語の講義です。今月は時制と助動詞を扱いました。文法事項にとどまらず、会話や作文の注意点も教えてもらっています。

2. 生活の状況

今月はまとまった行事がなかったので、写真ごとに紹介していこうと思います。



春休み期間中に両親が訪れ、おにぎりの具材を持ってきてくれたので、さっそく友達といただきました。中身はミートボールとツナです。



両親とミルウォーキーを散歩した時に取りました。ミルウォーキーはドイツ系移民の子孫が多い街で、ドイツ風の建物や食べ物が多くみられます。この日はダウンタウンにあるドイツ街を歩きました。



キャンパスの近くでスウェディッシュパンケーキを食べました。デンマーク系の友人が、「デンマークではデニッシュパンケーキと呼ぶ」と不満げに言っていました（笑）。キャンパスの近くでは、いろいろな国の料理を楽しむことができます。



卵かけご飯の写真です。アメリカの卵は鮮度が低く、普段は生で食べることはできません。しかしある日、家で鶏を飼っている友人が朝採れの生卵をプレゼントしてくれました。久しぶりに卵かけご飯を食べることができて幸せでした。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間: 2018/04/05~2018/05/04)

1. 勉学の状況

(1) (POL-SCI 250) Law and Society

法社会学の講義です。今月から民事訴訟に入りました。ところで皆さんはアメリカの民事訴訟についてどんなイメージを持っているのでしょうか。「アメリカといえば訴訟大国で、何かにつけて訴訟を起こし、ビジネスがごとく賠償金を得る」なんてステレオタイプがあると思います。少なくとも僕はそういうイメージを持っていました。この講義では、こうしたステレオタイプの真偽も含め、民事訴訟の性質や問題点について扱っています。

関連して“Hot Coffee”という映画の鑑賞が宿題に指定されました。皆さんも一度は「ホットコーヒーが熱すぎて火傷を負った」としてマクドナルドを訴えたアメリカ人の話を聞いたことがあると思います。まるで都市伝説のように聞こえますが、本当にあった話です。笑話のように聞こえるかもしれませんが、この話には消費者団体訴訟・利益団体・三権分立・訴訟手続きの問題点・ジャーナリズムなど法社会学に関するトピックが詰まっているのです。この映画の日本語版があるかどうかは知りませんが、オンラインで購入できるので、法学を勉強しているを始め、多くの人に視聴をお勧めしたいです。

今月はクラス内でディスカッションもありました。僕は銃規制を扱うグループに参加しました。日本では銃に関連する事件が少ない分、この問題について耳にしたり考えたりする機会がありませんでしたので、ここで一通りの議論に触れることができよかったです。

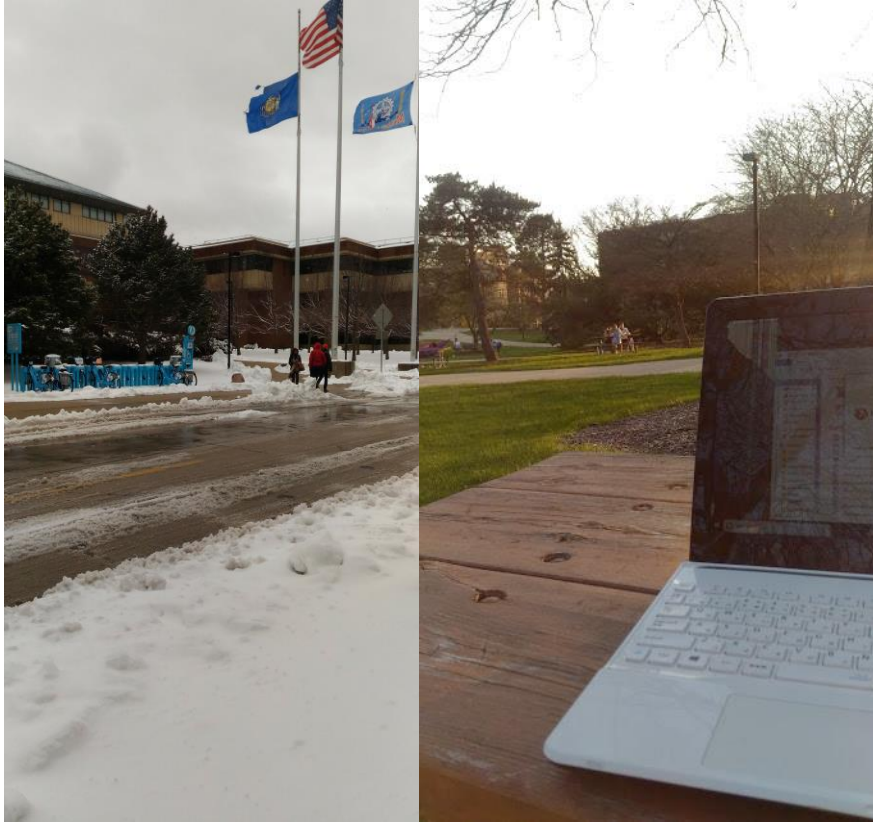
(2) (SOCIO1 101) Introduction to Sociology

社会学の講義です。今月もペーパーがありました。半年前は2ページほどのペーパーでもかなり時間がかかっていました。しかし今では、3ページほどのペーパーならサッと片付けてしまおうと思えるようになりました。そういう意味で英語力はついたかなという気がします。とはいえ、まだまだ絶対的な英語力は低く、友達に添削してもらおうと赤ペンで真っ赤になって返ってくるので、まだまだ精進が必要です。留学も残りわずかですが、最後まで英語学習の機会を大切にしていきたいです。

2. 生活の状況



Chicago Cubs のダルビッシュ選手が投げるかもしれないということで、友達と野球観戦に行きました。しかしダルビッシュ選手の登板は翌日に回ってしまいました。残念。というわけで、にわかに関東の Milwaukee Brewers の応援をしました。結局 Brewers がサヨナラ勝ちし、とても興奮しました。日本のプロ野球とは違う応援スタイルを経験でき、とても楽しかったです。



(左) 4月の中旬に50センチほどのドカ雪が降りました。驚きました。しかしこの日を境に気温が一気に上昇し、春が訪れました。現在は平均15度ほどのとても暖かい日が続いています。広場では多くの学生がハンモックと教科書を持ち出して外で勉強しています。

(右)とても気持ちいい天気が続くので、パソコンを持ち出して外でこの報告書を作っています。

以上。